

IV 資料

1 函館市教育の沿革概要

和暦 (年度)	西暦 (年度)	主な出来事
嘉永元年	1848	○佐々木作右衛門が鍛冶町に私塾「藤村堂」開設
嘉永3年	1850	○森菊三郎が内濶町に「猿山塾」を開設、読み方、書き方を教授
嘉永4年	1851	○本道最初の心学道場「誠終舎」開設
安政元年	1854	○ペリー来航、日米和親条約の締結で箱館開港
慶応2年	1866	○富原九一郎が大黒町に「富原私塾」を開設、読み方、書き方、算術を教授
明治2年	1869	○蝦夷地を北海道、箱館を函館と改称し、開拓使を設置
明治3年	1870	○柳田藤吉が「郷学校」（のちに郷塾と改称）を会所町に設け、漢・英を教授
明治4年	1870	○官立函館学校（本道最初の官立学校）創設、漢・英二学を教授（官員の子弟のみ）
明治5年	1872	○学制公布 ○函館病院附属医学所で教授開始 ○官立函館学校へ一般人の入学許可 ○私立戸井教育所開設
明治6年	1873	○官立函館学校を「露学校」と改称（翌年、官立松陰学校に、のち元町学校） ○露国宣教師、元町に正教学校を開校 ○本道最初の中学校である官立変則中学校（3か年制）を富岡町に設立
明治7年	1874	○変則中学校を富岡学校と改称、14歳以上19歳以下の者が入学 ○米国メソジスト監督教会員が元町で「日々（にちにち）学校」を開始（現遺愛学院の前身）
明治8年	1875	○函館最初の官立小学校である会所学校が開校（6歳以上13歳以下の児童）
明治9年	1876	○官立小学教科伝習所を会所学校に開設（本道における師範学校の前身） ○公立松陰学校開校（最初の公立小学校）
明治10年	1877	○公立内濶学校開校 ○私学愛陶舎、鶴岡学校設立 ○私立夜学の弁天学校、金蘭学校、行余学校、松濤学校（女子夜学校の最初）など開校（ともに小学校ではなく、日用簡易の学科教授）
明治11年	1878	○公立住吉学校（現青柳小学校の前身）、公立宝学校、公立常盤学校、公立亀田学校が開校 ○日本聖保禄会員が元町で教育の事業開始（現白百合学園高等学校の前身）
明治12年	1879	○函館における最初の女子小学校である第一公立女学校が開校 ○函館における最初の夜間小学校である私立淳風学校が開校 ○私立函館商船学校、公立上湯川学校が開校 ○函館公園内に開拓使仮博物館が落成（前年着工の函館公園完成） ○小学教科伝習所附属小学校開校（会所学校廃止）
明治13年	1880	○私立臥牛学校開校 ○公立石崎学校、公立湯川学校、公立宇賀学校が開校 ○官立小学教科伝習所を官立函館師範学校と改称 ○小学教科伝習所附属小学校を函館師範学校附属小学校と改称 ○図書館の先駆、思斉会が発足（翌年、書籍館となり一般公開） ○戸井教育所を廃止、公立戸井学校、公立白浜学校、公立瀬田来学校を開校 ○楳法華簡易学校開業 ○公立尻岸内学校、根田内校、古武井教育所開校
明治14年	1881	○私立若山学校、沢学校、藤村学校など開校 ○官立函館師範学校内に一般青少年対象の私立函館夜学校を開設 ○函館教育協会（のちの函館教育会）発足
明治15年	1882	○私立福田学校、一貴学校が開校 ○私立遺愛女学校開校（現遺愛女子高等学校、現校舎は明治41年落成） ○公立弥生学校開校 ○私立東川学校開校（同年、公立に編入して公立東川学校となる） ○開拓使を廃止、三県（函館、札幌、根室）を設置 ○函館県に教育令実施 ○公立函館女学校開校（翌年、公立女子小学校と改称） ○私立高砂学校開校（翌年、私立高砂小学校と改称、明治17年公立に編入） ○この年、函館の人口36,419人、学齢児童5,049人、就学児童2,014人、未就学児童2,945人

IV 資料

		○公立小安学校開校（戸井）
明治 16 年	1883	○函館師範学校附属小学校内に幼稚園を設置，満 3 歳からの幼児 20 名を収容（函館における最初の幼稚園） ○函館県小学校校則，函館県小学校教則実施 ○函館商船学校が県立に移籍（のち官立となり，東京商船学校函館分校となる） ○公立幸小学校開校，公立東川学校を公立東川小学校に改称 ○私立商業学校が開校
明治 17 年	1884	○私立商業学校内に私立末広小学校開設 ○元町ハリストス教会内に私立正教女学校裁縫場開設（のちの正教女学校の創始） ○函館師範学校に教員講習場を設け，県内郡区の教員を対象に講習会開催 ○函館公園内に博物場第二号館開設 ○白浜学校，小安学校を合併し，小安学校とした。（戸井）
明治 18 年	1885	○函館師範学校内に県立函館女学校創立 ○私立皇漢英学講習所，私立五島学舎，私立函館学校開校，嘯山私塾開設 ○戸井小学校新築
明治 19 年	1886	○私立聖保禄女学校（現白百合高等学校）が開校 ○私立豊川小学校，浜野小学校，堀川小学校，巴小学校が開校 ○県が廃止され，札幌に北海道庁を設置 ○札幌・函館の師範学校を廃止，改めて札幌に北海道師範学校を設置 ○函館に当分，北海道師範学校分校を設置 ○日浦簡易小学校開校
明治 20 年	1887	○公立住吉，東川，高砂，幸の 4 小学校を私立小学校とする ○庁立函館商業学校開校 ○私立函館学校内に私立函館幼稚園開設 ○北海道師範学校函館分校廃校（師範学校の校名を北海道尋常師範学校と改称）
明治 21 年	1888	○公立函館書籍館開館 ○私立六和女学校開校（現大谷高等学校の前身） ○榎法華簡易小学校校舎改築
明治 22 年	1889	○公立函館女学校開校（高等小学校に類する女学校，修業年限 4 か年，ほかに別科として 16 歳以上の女子が入学） ○私立函館学校廃校（高等科の女生徒を公立函館女学校に移籍） ○高竜寺吉祥協会本部に私立吉祥女学校が開校 ○聖公会牧師ウォルター・アンデレスが元町に私立靖和女学校を開校 ○古武井教育所を根田内（恵山）小学校に合併
明治 23 年	1890	○元町正教女学校に西洋裁縫科設置 ○私立恵似小学校開校（真宗大谷派北海道慈恵会設立）
明治 24 年	1891	○官立函館商船学校新築落成，東京商船学校函館分校と改称
明治 25 年	1892	○亀尾小学校開校 ○英人ネットルシップ，元町に「旧土人学校」を開設 ○私立遺愛女学校付設小学校・幼稚園開校 ○戸井小学校鎌歌分校設置
明治 26 年	1893	○公立函館女学校を公立函館女子高等小学校と改称
明治 28 年	1895	○米人シャーロット・ドレバー，函館訓盲会を設立（現函館盲・聾学校の前身） ○庁立函館商業学を廃止し，庁立函館尋常中学校（現函館中部高等学校の前身）を開校，商業専修科併設 ○榎法華簡易小学校を榎法華尋常小学校と改称
明治 29 年	1896	○私立東川尋常高等小学校に屋内運動場完成
明治 30 年	1897	○公立幸尋常高等小学校・公立宝尋常高等小学校が開校（幸・宝小学校の改称）
明治 31 年	1898	○住吉・東川・高砂尋常小学校が公立移管
明治 32 年	1899	○函館尋常中学校商業専修科を廃止，元町に庁立函館商業学校を新設・開校
明治 33 年	1900	○函館区に初めて 7 名の学務委員設置（公民 2，区会議員 3，教員 2） ○戸井小学校鎌歌分校が独立し，鎌歌小学校となる。
明治 34 年	1901	○東京商船学校函館分校廃止，庁立函館商船学校が開校（のち七重浜に移転） ○庁立函館尋常中学校を庁立函館中学校と改称（明治 39 年現時任町に移転） ○戸井，瀬田来両尋常小学校を合併し，日新尋常小学校と改称
明治 35 年	1902	○私立六和女学校を私立函館大谷女学校と改称
明治 36 年	1903	○函館区中部方面の学齢児童増加，宝，東川，住吉，高砂，亀田の各小学校で二部授業開始 ○若松尋常高等小学校開校 ○古武井教育所を根田内（恵山）小学校から分離し，古武井小学校を開校

IV 資料

明治 38 年	1905	○庁立函館高等女学校開校（現函館西高等学校の前身） ○宝小学校に宝補習夜学校を付設
明治 39 年	1906	○私立函館実践女学校が東川町西別院内に開校
明治 40 年	1907	○小学校令改正，義務教育 6 か年制開始
明治 41 年	1908	○市立函館幼稚園が栄町に設立（昭和 7 年愛国婦人会函館幼稚園，昭和 18 年函館幼稚園として市立に移管）
明治 42 年	1909	○弥生小学校で区内の教員や児童の図画成績展覧会開催（函館初の展覧会） ○函館教育会が谷地頭に公設運動場を設置（渡辺熊四郎の寄付） ○私立函館図書館が函館公園内に設置・開館
明治 43 年	1910	○公会堂落成・開堂（相馬哲平氏の寄付）
明治 44 年	1911	○公立函館工業補習学校が青柳町に開校（大正 9 年新川町に新校舎に移転）
明治 45 年	1912	○新川尋常小学校開校 ○公立第二東川尋常小学校が開校 ○私立遺愛幼稚園が開園 ○五稜郭跡，函館区に貸与（翌年 6 月，公園として一般公開）
大正 3 年	1914	○北海道函館師範学校開校（現北海道教育大学函館校の前身）
大正 5 年	1916	○函館図書館五階建書庫落成（相馬哲平氏の寄付）
大正 6 年	1917	○公立千代ヶ岱尋常小学校開校 ○函館教育会主催，学童水泳会（七重浜，水泳学校の最初） ○小熊英資金創始（小熊幸一郎氏の寄付） ○公立第一尋常夜学校（第二東川小学校内），公立第二尋常夜学校（新川小学校内）開校 ○函館慈恵院附属大森小学校開校
大正 7 年	1918	○最初の区視学，任命
大正 8 年	1919	○楳法華尋常小学校 校舎新築落成
大正 9 年	1920	○公立松風尋常高等小学校落成，授業開始（翌 10 年開校式） ○楳法華尋常小学校高等科を併置，楳法華尋常高等小学校と改称
大正 10 年	1921	○千代ヶ岱尋常小学校を千代ヶ岱尋常高等小学校と改称 ○函館教育会主催第一回児童安全デー開催（児童の交通安全を強調） ○函館教育会主催第一回林間学校開設（最初の林間学校・大正 15 年から市が主催） ○区立函館工業学校開校（翌年庁立，現函館工業高等学校の前身） ○公立巴尋常小学校開校
大正 11 年	1922	○函館支庁を渡島支庁と改称 ○函館区が函館市となり，区立小学校は市立小学校と改称（当時，市内の市立尋常高等小学校は，弥生，函館女子，住吉，宝，東川，松風，若松，千代ヶ岱，亀田の 9 校，市立尋常小学校は，幸，常盤，第二東川，高砂，巴，新川の 6 校，私立小学校は，鶴岡尋常小学校，函館慈恵院附属大森小学校の 2 校） ○五稜郭跡が国の史跡に指定
大正 12 年	1923	○函館中学校に夜間中学校が開校 ○函館教育会が小学生の読物「函館の小学生」を刊行（昭和 18 年廃刊） ○私立函館大谷女学校が私立函館大谷高等女学校と改称
大正 13 年	1924	○谷地頭尋常高等小学校，弥生女子尋常高等小学校が開校 ○私立函館大妻技芸学校開校（蓬萊町に開校，翌年松風町，昭和 4 年高砂町に移転・現函館大妻高等学校の前身）
大正 14 年	1925	○私立遺愛第二幼稚園開園 ○函館市学校衛生婦会発足 ○尻岸内小学校，根田内（恵山）小学校に高等科を設置
大正 15 年	1926	○函館市主催第一回林間学校，五稜郭公園内で開催 ○市教育課内に学校衛生主事を設置
昭和 2 年	1927	○万年橋尋常小学校開校 ○函館教育会主催，ペスタロッチ百年祭記念座談会開催（五島軒） ○私立函館図書館が市立移管（新築して翌年 7 月開館） ○大森尋常高等小学校開校
昭和 3 年	1928	○柏野尋常小学校開校 ○市立函館商工実修学校（商業部，工業部，女子商業部）開校
昭和 4 年	1929	○弥生女子尋常高等小学校ほか 7 校（谷地頭，住吉，東川，第二東川，松風，千代ヶ岱，巴）の高等科を廃止，市内高等科の女兒全員を新設の函館女子高等小学校（開校式は翌年 3 月）に収容し，授業開始 ○国史跡五稜郭 堀外周長斜坂部が追加指定
昭和 5 年	1930	○谷地頭，住吉，汐見，新川の 4 小学校に虚弱児童の養護学級設置

IV 資料

		○私立昭和技芸学校開校（現清尚学院高等学校の前身） ○私立函館大谷幼稚園開園
昭和 6 年	1931	○函館市体操研究会主催第一回市内小学校教員陸上競技会を函館中学校で開催
昭和 7 年	1932	○函館大妻技芸学校を函館大妻女子高等技芸学校と改称 ○第一回函館市小学校連合体育大会を柏野総合運動場で開催 ○函館学校歯科医師会創設 ○函館市小学校地理教育研究会が「函館市地理読本」を編集、発行 ○函館市小学校診療所を松風小学校に開設 ○欠食児童に共働宿泊所より弁当配給開始（幸、谷地頭、宝、第二東川、東川、高砂、新川、松風、若松、巴、大森、千代ヶ岱、万年橋、高砂夜学、汐見の 15 校）
昭和 8 年	1933	○中島尋常小学校開校
昭和 9 年	1934	○四稜郭が国の史跡に指定 ○志苔館跡が国の史跡に指定
昭和 9 年	1934	○函館大火により、罹災学童 18, 046 名、死亡学童 218 名
昭和 10 年	1935	○坂本市長「函館市教育是」発表 ○函館放送局が学校放送を開始 ○官立函館高等水産学校開校（現北海道大学水産学部の前身） ○庁立函館商船学校が廃止され、新たに庁立函館水産学校が開校 ○私立竜谷幼稚園開園 ○第一回北洋漁業視察小学校教員団 9 名出発 ○第一回「港まつり」举行
昭和 11 年	1936	○住吉尋常小学校を青柳尋常小学校,大森尋常高等小学校を高盛尋常高等小学校に改称 ○的場尋常高等小学校開校 ○私立函館第二大谷幼稚園開園
昭和 12 年	1937	○宝・松風・若松・新川の 4 小学校が尋常小学校となり、高等科廃止 ○大森尋常小学校開校 ○私立函館中等夜学校を私立函館夜間中学と改称 ○東川青年学校開校
昭和 13 年	1938	○弥生女子尋常小学校を弥生尋常高等小学校に合併
昭和 14 年	1939	○湯川町が函館市に合併（尋常高等小学校 2 校(湯川・亀尾),尋常小学校 3 校(鱒川・蛾眉野・寅沢)が市に移管） ○昭和技芸学校を私立昭和女子高等技芸学校（旧制中学校）と改称 ○私立函館経理学校が開校（現函館大学附属有斗高等学校の前身）
昭和 15 年	1940	○函館市立中学校が開校（旧函館東高等学校、現市立函館高等学校の前身）
昭和 16 年	1941	○国民学校令、国民学校施行規則が公布され、小学校は国民学校と改称 ○八幡国民学校開校、的場青年学校開校 ○太平洋戦争爆发 ○樞法華尋常高等小学校を樞法華国民学校と改称
昭和 17 年	1942	○谷地頭・大森・万年橋・中島女子の各青年学校が開校 ○市教育課に体育主事設置
昭和 18 年	1943	○函館師範学校が北海道第二師範学校と改称 ○市立函館幼稚園開園（愛国婦人会函館幼稚園が市立移管）
昭和 19 年	1944	○寅沢国民学校が廃校 ○函館高等水産学校が函館水産専門学校と改称
昭和 20 年	1945	○市内国民学校初等科児童が集団疎開（亀尾、鱒川、銭亀沢、石崎、島川、市渡、駒ヶ岳、大沼、森、濁川、大野、清水、知内、湯里、吉岡、福島、松前等の学校、寺院その他へ分散宿泊） ○ポツダム宣言を受諾、終戦 ○谷地頭国民学校が廃止され、同校校舎に北海道第二師範学校女子部設置
昭和 21 年	1946	○放出物資によるミルク補食給食開始（11 月～幸小学校、翌年～高盛、千代ヶ岱、常盤、東川小学校） ○樞法華小学校校舎新築
昭和 22 年	1947	○教育基本法、学校教育法が公布（教育制度改革、六三三制発足） ○函館市新学制実施協議会を結成 ○国民学校の名称が小学校と改称 ○新制中学校、公立 13 校（的場・弥生・新川・湯川・川原・時任・柳町・旭・中島・万年橋・亀尾・元町・五稜郭）国立 1 校（附属）私立 3 校（遺愛・大谷・白百合） ○函館市公民館開館（旧青年会館） ○函館市学校図書館研究会発足（全国で最初） ○小安・汐首・日新小学校に新制中学校併置（戸井）

IV 資料

		○楡法華中学校開校
昭和 22 年	1947	○尻岸内小学校、恵山小学校、古武井小学校、日浦小学校に新制中学校を併置
昭和 23 年	1948	○函館教育会が解散（函館文化会が継承） ○万年橋中学校を大川中学校と改称 ○新制高等学校が発足 ○高盛中学校、松風中学校、青柳中学校が開校 ○教育委員会法公布 ○市立函館図書館第一分館開設 ○市立函館博物館開設（市立図書館内） ○日米文化センターが開設 ○楡法華中学校校舎新築落成
昭和 24 年	1949	○第一回函館市成人祭実施 ○レッド・バージュにより、6名の教員に休職発令 ○亀田村字港地区が函館市に合併（港小学校が市立移管） ○弥生中学校を船見中学校と改称 ○時任・元町・五稜郭・青柳・川原の5中学校が廃校 ○私立函館藤幼稚園が開園 ○北海道第二師範学校が北海道学芸大学函館分校と改称
昭和 25 年	1950	○函館水産専門学校が北海道大学水産学部と改称 ○駒場小学校・千代田小学校が開校 ○愛宕中学校が開校 ○高盛中学校を光成中学校、松風中学校を松川中学校、中島中学校を中央中学校に改称 ○函館白百合幼稚園が開園（昭和39年元町より当時亀田町本通に移転） ○青柳中学校を谷地頭中学校と改称し、北海道第二師範学校女子部跡に移転 ○港小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○柏野小学校に養護学級（3学級）を設置 ○第一回函館市教育宝くじ発売 ○函館市文化賞規則制定（文化の日、第一回授与式挙行）
昭和 26 年	1951	○函館昭和女子高等技芸学校移転（西川町→東川町）し、昭和竜谷技芸高等学校に改称 ○千代ヶ岱公園に市営野球場が完成 ○第一回成人学校開校 ○函館市奨学資金条例制定 ○私立函館ちとせ幼稚園が開園 ○日新中学校独立校舎竣工（戸井） ○尻岸内第一中学校開校（日浦中学校と尻岸内中学校の統合） ○尻岸内第二中学校開校（恵山中学校と古武井中学校の統合）
昭和 27 年	1952	○文部省モデルスクールの新川中学校が落成 ○谷地頭中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○函館市学校給食研究会発足、給食用パン代補助開始 ○函館市教育委員会が発足 ○私立めぐみ幼稚園開園（昭和49年本町より桔梗町に移転、桔梗めぐみ幼稚園と改称） ○潮光中学校独立校舎竣工（戸井） ○国史跡五稜郭跡が特別史跡に指定
昭和 28 年	1953	○函館市教育委員会公報、創刊号を発行 ○函館市新学制実施協議会を改め、函館市学校教育審議会発足 ○函館商科短期大学開校 ○函館大妻技芸高等学校移転（高砂町→川原町） ○公立戸井高等学校開校
昭和 29 年	1954	○第一回函館山市民ハイキング大会実施 ○尻岸内第二中学校を東光中学校に校名変更 ○尻岸内第一中学校を尻岸内中学校に校名変更
昭和 30 年	1955	○函館市視聴覚ライブラリーを設置 ○谷地頭小学校開校 ○谷地頭中学校を潮見中学校と改称 ○第一回水泳学校開催（七重浜） ○市立函館博物館五稜郭分館が開館
昭和 31 年	1956	○金堀小学校開校 ○私立国華幼稚園、私立ひまわり幼稚園が開園
昭和 32 年	1957	○港中学校開校 ○函館市教育目標および教育課程を編成

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○函館市学校教育の重点を設定 ○函館市教育研究所を設置 ○私立函館女子商業高等学校が開校（現函館大学附属柏稜高等学校） ○私立湯の川幼稚園，私立第二竜谷幼稚園が開園
昭和 33 年	1958	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回市民体育祭開催(千代ヶ岱公園陸上競技場) ○港中学校に特殊学級（精神薄弱）設置 ○私立函館若葉幼稚園開園 ○古武井小学校新校舎落成
昭和 34 年	1959	<ul style="list-style-type: none"> ○青柳小学校，新川小学校，中島小学校，若松小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和 38 年，若松小の特殊学級廃止） ○函館市青少年保護育成事務局発足 ○函館市青少年補導センター発足 ○アイヌの生活用具コレクションが国の重要有形民俗文化財に指定
昭和 35 年	1960	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市青少年問題協議会発足 ○函館五稜郭病院内に柏野小学校・的場中学校の特殊学級「みどり学園」(病弱虚弱)を開設 ○私立ラ・サール高等学校開校 ○私立函館第三大谷幼稚園開園 ○尻岸内中学校新校舎落成
昭和 36 年	1961	<ul style="list-style-type: none"> ○深堀中学校開校 ○弥生小学校，高盛小学校，新川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○千代ヶ岱公園内に第二種公認陸上競技場が完成 ○亀尾中学校の分教場が独立し，鱒川，蛾眉野中学校として開校 ○私立湯川明照幼稚園，市立函館元町白百合幼稚園が開園 ○昭和竜谷技芸高等学校が普通科を開設し，昭和竜谷女子高等学校と改称 ○函館大妻技芸高等学校が函館大妻高等学校と改称 ○安全都市宣言
昭和 37 年	1962	<ul style="list-style-type: none"> ○五稜中学校開校 ○函館五稜郭病院内特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を五稜中学校に移管 ○函館市文化財保護条例公布・施行 ○国立函館工業高等専門学校開校
昭和 38 年	1963	<ul style="list-style-type: none"> ○函館大谷女子短期大学開校 ○函館北高等学校開校 ○市立函館病院内に弥生小学校特殊学級「やよい学園」（肢体不自由）を開設 ○柏野小学校養護学級を転用して精神薄弱学級を設置 ○的場中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和 48 年廃止）
昭和 38 年	1963	○村立戸井高等学校独立校舎竣工
昭和 39 年	1964	<ul style="list-style-type: none"> ○日吉が丘小学校開校 ○完全給食（A 型）を実施（幸・常盤・弥生・谷地頭・青柳・東川・大森・新川・若松・松風・巴・八幡・万年橋・港・高盛・千代ヶ岱・中島・千代田・柏野・金堀・駒場・日吉が丘・湯川・亀尾・鱒川の 25 小学校，亀尾・鱒川の 2 中学校） ○昭和竜谷高等学校が東川町より亀田本町に移転 ○万年橋小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「函館市ふたば学園」内に日吉が丘小学校および深堀中学校特殊学級(精神薄弱)を開設
昭和 40 年	1965	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市立道南青年の家が落成 ○市内初の学校プールを金堀小学校に設置 ○函館大学開校 ○松風小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○学校給食センター落成（恵山地区）
昭和 41 年	1966	<ul style="list-style-type: none"> ○市立松風幼稚園開園（松風小学校に併設） ○中央中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「市立函館整肢学院」に青柳小学校および旭中学校の特殊学級（肢体不自由）を開設（のちに青柳学園と改称） ○市立函館博物館本館開館 ○銭亀沢村が函館市に合併（銭亀小学校，石崎小学校，宇賀小学校，銭亀沢中学校が市立移管） ○私立函館短期大学附属幼稚園開園
昭和 42 年	1967	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設等を勤労青少年の社会教育活動に開放するため，初の学校開放実施（新川小学校） ○函館大谷高等学校に男子部（当時亀田本町本通）を設置 ○亀田小学校（亀田町立当時）に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○木造大日如来坐像が国の重要文化財に指定 ○戸井村学校給食開始

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○戸井中央公民館開館 ○第1回戸井村文化祭開催
昭和43年	1968	<ul style="list-style-type: none"> ○桐花中学校（亀田町立当時）・大川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○戸井青少年会館開館 ○尻岸内小学校に特殊学級を開設 ○恵山小学校につつじ小公園を設置 ○尻岸内町郷土博物館開館
昭和44年	1969	<ul style="list-style-type: none"> ○函館商業高等学校が亀田町の新校舎に移転 ○函館市青年センター開館 ○梁川交通公園開設 ○昭和竜谷女子高等学校を函館昭和女子学園高等学校と改称 ○市立函館博物館郷土資料館開館
昭和45年	1970	<ul style="list-style-type: none"> ○町立北海道恵山高等学校開校（古武井小学校仮校舎） ○上湯川小学校開校 ○西小学校開校（常盤小学校と幸小学校の統合） ○函館市民会館開館 ○第一回新成人海外派遣実施
昭和46年	1971	<ul style="list-style-type: none"> ○深堀小学校開校 ○大森小学校に特殊学級（言語障がい）を設置 ○函館市民プール開館 ○太刀川家住宅店舗が国の重要文化財に指定
昭和46年	1971	<ul style="list-style-type: none"> ○戸井高等学校が全日制となる。 ○南茅部町青少年会館開館
昭和47年	1972	<ul style="list-style-type: none"> ○東小学校開校（銭亀小学校と宇賀小学校の統合） ○函館市働く婦人の家開館 ○戸井郷土館開館 ○南茅部町福祉センター（南茅部公民館）開館
昭和48年	1973	<ul style="list-style-type: none"> ○新川小学校に特殊学級（情緒障がい・肢体不自由）を設置 ○戸倉中学校開校 ○市立日吉幼稚園開園 ○亀田市が函館市と合併（亀田・鍛神・赤川・桔梗・中の沢・昭和・中央・本通の8小学校、鍛神小東山分校、桐花・亀田の2中学校が函館市立として編入、私立太陽の子幼稚園、私立大谷短期大学附属幼稚園、私立函館白百合学園幼稚園、私立ゆたか幼稚園の4園が函館市内となる） ○私立函館白百合学園中学校休校 ○東幼稚園・西地区学校プール完成（戸井） ○北海道恵山高等学校、実習用漁艇「第一えさん」竣工
昭和49年	1974	<ul style="list-style-type: none"> ○私立函館第二大谷幼稚園が花園町に移転し、花園大谷幼稚園として開園 ○函館市南北海道教育センター開所 ○函館市民体育館開館 ○旧函館区公会堂が国の重要文化財に指定 ○総合体育館および町民プール落成（恵山地区） ○北海道恵山高等学校新校舎落成
昭和50年	1975	<ul style="list-style-type: none"> ○北日吉小学校開校 ○本通中学校開校 ○「函館市ゆのかわ学園」に湯川小学校の特殊学級（精神薄弱）を開設 ○重度心身障がい児のための住宅訪問指導員制度発足 ○著保内野で中空土偶発見 ○北海道恵山高等学校、実習用漁艇「第五えさん」竣工
昭和51年	1976	<ul style="list-style-type: none"> ○北昭和小学校開校 ○高丘小学校開校 ○万年橋幼稚園開園 ○日吉が丘小学校に特殊学級（情緒障がい）を設置 ○「函館市ゆのかわ学園」に湯川中学校の特殊学級（精神薄弱）を設置 ○市立函館図書館赤川通分室開館 ○第一回函館市婦人大学講座開設 ○第一回市民美術公募展開催 ○国立函館大学誘致促進期成会発足 ○戸井高等学校道立移管
昭和52年	1977	<ul style="list-style-type: none"> ○西中学校開校（船見中学校と愛宕中学校の統合） ○市立函館図書館上湯川児童図書室開館

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○私立第2太陽の子幼稚園開園 ○第1回はこだて放送文化セミナー開設 ○総合センター（戸井総合学習センター）開館 ○恵山小学校新校舎落成
昭和53年	1978	<ul style="list-style-type: none"> ○中部小学校が開校（新川小学校と松風小学校の統合） ○東山小学校が開校 ○函館東高等学校校舎改築に着手（計画年度昭53～58） ○市立函館図書館第1分館桔梗配本所開設
昭和53年	1978	<ul style="list-style-type: none"> ○見晴町B遺跡・中野A遺跡発掘調査実施 ○日新小学校改築工事竣工 ○楳法華小学校 校舎改築落成 ○日浦小学校新校舎落成
昭和54年	1979	<ul style="list-style-type: none"> ○旭岡小学校開校 ○北美原小学校開校 ○私立函館ひかり幼稚園開園 ○北海道五稜郭養護学校開校(青柳小学校特殊学級(肢体不自由),旭中学校特殊学級(肢体不自由),柏野小学校特殊学級(病弱虚弱),五稜中学校特殊学級(病弱虚弱)を廃止) ○市立小・中学校に米飯給食を導入（週1回） ○移動図書館車（ともしび号）運行開始 ○土偶が国の重要文化財に指定 ○北海道指定有形文化財旧函館博物館1号修復工事実施 ○権現台場遺跡発掘調査実施（昭54～55年度） ○函館市道立高等学校誘致促進期成会発足 ○私立函館あおい幼稚園が開園 ○日新中学校改築工事竣工 ○楳法華小学校 屋内体育館改築落成 ○週1回の米飯給食を開始（恵山地区） ○総合体育館付設テニスコート完成（恵山地区）
昭和55年	1980	<ul style="list-style-type: none"> ○赤川中学校開校 ○私立函館三育小学校開校 ○銭亀沢中学校校舎改築 ○重要文化財旧函館区公会堂保存修理工事着手（昭55～57年度） ○第1回函館子どもの船開設 ○第1回函館市民健康マラソン大会開催 ○特別史跡五稜郭跡二の橋修理工事着手（昭55～56年度） ○函館市指定有形文化財旧北海道庁函館支庁庁舎保存修理工事着手（昭55～56年度） ○函館大谷女子短期大学に幼児教育科を新設 ○函館市に道立高等学校の新設決定，昭和58年度開校〔北海道教育長期総合計画（後期実施計画）〕 ○函館市学校教育の重点を改訂 ○楳法華総合センター開館 ○東光中学校新校舎落成 ○週2回の米飯給食を開始（恵山地区） ○東光中学校体育館落成
昭和56年	1981	<ul style="list-style-type: none"> ○旭岡中学校開校 ○湯川中学校分教場新築工事着手（翌年市立北中学校として開校） ○私立湯川明照幼稚園廃止 ○私立ききょう幼稚園開園 ○私立高丘幼稚園開園 ○特別史跡五稜郭跡一の橋，二の橋修理工事完成 ○函館市総合文化センター基本計画策定 ○第1回函館子どもの祭典開催 ○戸井西幼稚園開園（戸井地区）
昭和57年	1982	<ul style="list-style-type: none"> ○北中学校開校 ○凌雲中学校開校（中央中学校と松川中学校の統合） ○北洋資料館開館 ○教育委員会施行30周年記念事業〔文化講演会，函館市教育委員会のあゆみ刊行(編集昭和57年度～59年度)〕 ○「子どもの生活を考える」市内7ブロックで発足 ○市立函館図書館湯川配本所開館（湯川支所内）

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○銭亀沢中学校校舎改築 ○北海道五稜郭養護学校校舎落成 ○北海道函館養護学校校舎落成 ○榎法華中学校改築 ○古武井小学校新校舎落成 ○尻岸内小学校の体育館、音楽および理科の特別教室落成 ○北海道恵山高等学校の定時制課程の生徒募集を停止し、全日制課程、漁業経営科1学級40名をもって昭和58年4月1日に開校する許可 ○東光中学校のグラウンド整備工事完成
昭和58年	1983	<ul style="list-style-type: none"> ○南本通小学校開校 ○北海道函館稜北高等学校開校 ○義務教育施設整備目標策定（昭59～平5年度） ○すずらん留守家庭児童会開設（上湯川小学校内） ○西部地区伝統的建造物群調査実施 ○函館ハリストス正教会復活聖堂が国の重要文化財に指定 ○北海道恵山高等学校全日制課程漁業経営科第一回入学式
昭和59年	1984	<ul style="list-style-type: none"> ○桔梗中学校開校 ○函館大谷高等学校が男女共学開始 ○核兵器廃絶平和都市宣言 ○南茅部町スポーツセンター（南茅部スポーツセンター）開設
昭和60年	1985	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市教育委員会30年誌発行 ○千代田小学校校舎改築（昭59～60年度） ○サイベ沢遺跡発掘調査完了（昭59～60年度） ○町民運動広場（戸井運動広場）完成（戸井地区） ○ふれあい高齢者大学開設（恵山地区） ○尻岸内小学校新校舎落成
昭和61年	1986	<ul style="list-style-type: none"> ○中の沢小学校校舎・屋体改築 ○湯川小学校校舎・防音改築（昭58～61年度） ○北海道立函館美術館開館 ○市民プール50mプール改築（昭59～61年度） ○ふるさとの歴史的事跡モニュメント設置調査完了（昭59～61年度） ○北海道恵山高等学校全日制課程普通科第一回入学式
昭和62年	1987	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道恵山高等学校定時制課程閉課記念式典挙行 ○北星小学校校舎・屋体新築（昭61～62年度） ○尻岸内中学校体育館に暖房設備を設置 ○尻岸内中学校新校舎落成
昭和63年	1988	<ul style="list-style-type: none"> ○史跡志苔館跡環境整備事業完了（昭58～62年度） ○函館市学校教育の重点を改訂 ○北星小学校開校（巴小学校と若松小学校の統合） ○義務教育施設整備計画〔木造校舎・屋内運動場改築事業（平元～7年度）〕策定 ○駒場小学校火災焼失(1月25日)、建設着手 ○亀田中学校校舎改築（昭62～63年度）
昭和63年	1988	<ul style="list-style-type: none"> ○第42回全国レクリエーション大会兼第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 ○陣川町遺跡発掘調査完了（昭62～63年度） ○重要文化財函館ハリストス正教会復活聖堂保存修理事業完了(昭61～63年度) ○函館市西部地区歴史的景観条例公布・施行 ○函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区の決定および保存計画の策定 ○南茅部町民運動公園（南茅部運動広場）開設
平成元年	1989	<ul style="list-style-type: none"> ○財団法人函館市文化・スポーツ振興財団設立 ○駒場小学校改築 ○柏野小学校校舎改築（昭和63～平成元年度） ○権現台遺跡発掘調査実施 ○第44回国民体育大会「はまなす国体」水泳競技(夏季),自転車競技(秋季)を開催 ○函館市北方民族資料・石川啄木資料館開館 ○伝統的建造物群保存地区保存事業開始 ○国際観光都市宣言 ○町民プールの温水化工事を実施（恵山地区） ○古武井小学校児童通路の緑化事業および芝生植栽工事完成
平成2年	1990	<ul style="list-style-type: none"> ○青柳小学校開校（青柳小学校と谷地頭小学校の統合） ○桔梗小学校改築（平成元～2年度）

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○亀田小学校改築（平成元～2年度） ○「登校拒否児童生徒の適応指導の在り方に関する調査研究委託事業」文部省委託（平成2～3年度） ○「第4回ツール・ド・北海道」開催 ○特別史跡五稜郭跡保存整備基本計画策定 ○史跡四稜郭環境整備事業完了 ○箱館奉行所復元詳細調査実施 ○南茅部町民白尻スキー場（現白尻スキー場）開設 ○南茅部町民テニスコート（現南茅部市民庭球場）開設 ○ふるさとの民話集第一号完成（恵山地区） ○尻岸内中学校グラウンド整備工事完成
平成3年	1991	<ul style="list-style-type: none"> ○赤川小学校改築 ○万年橋小学校改築（平成2～3年度） ○湯川中学校改築（平成2～3年度） ○第1回函館ハーフマラソン大会開催 ○函館市青少年芸術教育奨励事業開始 ○豊原2遺跡発掘調査実施（平成3～5年度） ○小・中学校へのコンピュータ導入
平成4年	1992	<ul style="list-style-type: none"> ○潮見中学校改築（平成3～4年度） ○市制施行70周年記念事業宝くじスポーツフェア「名球会がやってくる」開催 ○中学生を対象とした適応指導教室「やすらぎ学級」を南北海道教育センター内に開校 ○「スポーツ健康都市宣言」制定
平成5年	1993	<ul style="list-style-type: none"> ○宇賀の浦中学校開校（旭中学校と新川中学校の統合） ○函館市文学館開館（北方民族資料館は単独館化） ○中島小学校改築（平成4～5年度） ○八幡小学校改築（平成4～5年度） ○外国人英語指導助手導入
平成6年	1994	<ul style="list-style-type: none"> ○千代台公園野球場（オーシャンスタジアム）全面改修 ○「第8回ツール・ド・北海道」開催 ○石倉貝塚発掘調査実施（平成6～8年度） ○港小学校改築（平成5～6年度） ○港中学校改築（平成5～6年度） ○「いきいき長寿都市宣言」制定 ○社会科副読本「わたしたちのまち恵山」完成（恵山地区） ○古武井小学校の児童を対象に恵山町初のバイキング給食を開始
平成7年	1995	<ul style="list-style-type: none"> ○神山小学校開校 ○金堀小学校改築（平成6～7年度） ○深堀中学校改築（平成6～7年度） ○外国人英語指導助手増員（2名体制） ○湯川ネット式海水浴場開設
平成8年	1996	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習部設置（社会教育部を改組） ○社会教育施設整備基本計画策定 ○生涯学習推進基本構想策定 ○鱒川小中学校改築 ○石崎小学校改築 ○鍛神小学校改築（平成7～8年度） ○桐花中学校改築（平成7～8年度） ○外国人英語指導助手増員（3名体制） ○函館市青少年研修センター（ふるる函館）開所 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始（平成8～9年度） ○大船C遺跡（現大船遺跡）発掘調査実施（平成8～13年度、17～18年度）
平成9年	1997	<ul style="list-style-type: none"> ○私立函館大学附属女子高等学校を私立函館大学附属柏稜高等学校と改称（男女共学） ○私立函館白百合学園中学校再開 ○第2次義務教育施設整備計画策定 ○函館市日吉サッカー場完成 ○港小学校プールに上屋設置 ○本通中学校屋内体育館改修（7月6日火災による） ○中の沢小学校上屋付プール完成 ○第2回北海道生涯学習フェスティバル開催 ○「一男女共同参画社会をめざすーはこだてプラン21」策定

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校屋内体育館暖房設備の整備開始 ○潮光中学校新校舎完成
平成 10 年	1998	<ul style="list-style-type: none"> ○「戦後学校教育の五十年」の発行 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業継続（2 名体制） ○函館市芸術ホール（ハーモニー五稜郭）完成 ○ウィークエンド・サークル活動推進事業開始 ○美原図書館夜間開館試行 ○駒場小学校上屋付プール完成 ○青柳小学校プールに上屋設置 ○「第 12 回ツール・ド・北海道」開催 ○長野県南佐久郡白田町と「五稜郭ゆかりのまち協定書」締結 ○戸倉中学校情緒特殊学級「ふれあい学級」開設 ○戸井幼稚園開園（戸井東幼稚園と戸井西幼稚園の統合） ○鎌歌小学校を閉校し、日新小学校に統合 ○戸井西小学校開校（汐首小学校と小安小学校の統合） ○戸井生涯学習センター開館 ○南茅部町民プール（南茅部プール）開館
平成 11 年	1999	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市千代台公園陸上競技場全面改修 ○北美原小学校、赤川小学校に肢体不自由特殊学級開設 ○南本通小学校プールに上屋設置 ○瀬戸川 1 遺跡発掘調査実施（平成 11～12 年度） ○私立函館ラ・サール中学校開校 ○函館市千代台公園弓道場火災焼失(10 月 30 日) ○南茅部町立古部小学校廃校 ○南茅部町立磯谷小学校廃校 ○古部体育館、古部グラウンド、磯谷体育館、磯谷グラウンド開設
平成 12 年	2000	<ul style="list-style-type: none"> ○湯川小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○大森小学校「ことばの教室」を廃止。中部小学校・中央小学校「ことばの教室」新設（日吉が丘小学校とあわせて 3 校体制に） ○外国人英語指導助手増員（5 名体制に） ○函館市千代台公園弓道場改修 ○郷土資料館（旧金森洋物店）改修 ○中部小学校肢体不自由特殊学級閉鎖 ○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所復元構想策定 ○豊原 4 遺跡発掘調査実施（平成 12～13 年度） ○垣ノ島 A 遺跡発掘調査実施（平成 12～21 年度）
平成 13 年	2001	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会事務局を生涯学習部・学校教育部の 2 部に（管理部を廃止） ○女性課を市民部に移管（男女共同参画課に） ○特別史跡箱館奉行所庁舎復元計画策定 ○「第 15 回ツール・ド・北海道」開催 ○旧遺愛女子校宣教師館が国の重要文化財に指定 ○旧岩船氏庭園（香雪園）が国の名勝に指定 ○柏野小学校、中央小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○湯川中学校肢体不自由特殊学級開設 ○大船遺跡が国の史跡に指定
平成 14 年	2002	<ul style="list-style-type: none"> ○亀尾小学校特認校に指定 ○中部小学校、港中学校に弱視特殊学級開設 ○東小学校に知的障がい特殊学級開設 ○桐花中学校に情緒障がい特殊学級開設 ○学校完全週 5 日制施行 ○学校評議員制度導入 ○あさひ小学校開校（大森小学校と東川小学校の統合） ○市立函館博物館がアルセニエフ博物館（ロシア）と姉妹提携 ○志海苔古銭と大甕、函館八幡宮大神輿が市指定有形文化財に ○中央図書館プロポーザルコンペ実施 ○市立函館図書館第 1 分館廃止
平成 15 年	2003	<ul style="list-style-type: none"> ○市立はこだて幼稚園開園（函館幼稚園と松風幼稚園の統合） ○市立函館図書館千歳図書室開設 ○蛾眉野小中学校統合廃止（亀尾小中学校と統合） ○あさひ小学校、高丘小学校に情緒障がい特殊学級開設

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○北昭和小学校に知的障がい特殊学級開設 ○北海道志海苔中世遺構出土銭附甕敷板が国の重要文化財に指定
平成 16 年	2004	<ul style="list-style-type: none"> ○「第 18 回ツール・ド・北海道」開催 ○えさん小学校開校（尻岸内小学校、恵山小学校、古武井小学校、日浦小学校の統合） ○戸井町、恵山町、鍛法華村、南茅部町が函館市と合併（戸井西・日新・えさん・鍛法華・木直・磨光・白尻・大船の 8 小学校、潮光・日新・尻岸内・東光・鍛法華・尾札部・白尻の 7 中学校、恵山高校、戸井幼稚園が函館市立として編入、道立戸井高校、道立南茅部高校の 2 高校が函館市内となる） ○国指定史跡大船遺跡、国指定重要文化財土偶が市に移管（南茅部） ○名勝旧岩船氏庭園（香雪園）保存修理事業実施（平成 16～21 年度） ○函館市スポーツ振興計画策定 ○市立函館図書館上湯川児童図書室閉館
平成 17 年	2005	<ul style="list-style-type: none"> ○八幡小学校に肢体不自由特殊学級開設 ○旭岡小、鍛神小、戸倉中に知的障がい特殊学級開設 ○深堀小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○尾札部中学校に肢体不自由特殊学級開設 ○恵山中学校開校（尻岸内中学校と東光中学校の統合） ○函館恵山高等学校が旧尻岸内中学校校舎へ移転 ○市立函館図書館本館 中央図書館の移転に伴い休館 ○遺愛学院（旧遺愛女学校）本館が国の重要文化財に追加指定 ○大船遺跡発掘調査実施 ○垣ノ島遺跡発掘調査実施 ○市民体育館天井改修工事のため休館（6/30～12/17） ○函館市中央図書館開館 ○北星小、駒場小、港中、白尻小、恵山中に知的障がい特殊学級開設 ○昭和小学校改築（平成 17～19 年度）
平成 18 年	2006	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市南茅部縄文遺跡群整備構想策定 ○函館市文化芸術振興条例施行 ○函館公園が国の登録記念物に指定 ○ブラキストンの大形磨製石斧、高松凌雲の医療器具が市の有形文化財に指定 ○放送大学函館学習室開設（函館大学内） ○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所庁舎復元工事着手（平成 18～22 年度） ○弥生小、千代田小、港小、桔梗小、本通小、南本通小に情緒障がい特殊学級開設 ○高丘小に知的障がい特殊学級開設 ○的場中に肢体不自由特殊学級開設 ○「縄文シティサミット in はこだて」、「縄文市民サミット」開催
平成 19 年	2007	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市西桔梗野球場開設 ○市立函館高等学校開校（函館東高等学校と函館北高等学校の統合） ○土偶が国宝に指定 ○函館市文化芸術の振興に関する基本方針策定 ○外国人英語指導助手増員（6 名体制に） ○市立函館高等学校改修 ○市立函館博物館五稜郭分館閉館 ○万年橋小、日吉が丘小、昭和小、鍛神小に情緒障がい特別支援学級開設 ○北日吉小、えさん小に知的障がい特別支援学級開設 ○東山小に肢体不自由特別支援学級開設
平成 20 年	2008	<ul style="list-style-type: none"> ○北日吉小、鱒川小、鍛法華小、本通中に情緒障がい特別支援学級開設 ○桔梗小、本通中に知的障がい特別支援学級開設 ○鍛神小、北中に肢体不自由特別支援学級開設 ○市立万年橋幼稚園、市立日吉幼稚園廃止 ○南部忠平記念陸上大会開催 ○五稜郭初度設計図と五稜郭平面図が市の有形文化財に指定 ○史跡大船遺跡が世界文化遺産暫定一覧表に登録
平成 21 年	2009	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道函館恵山高等学校閉校 ○弥生小学校開校（西小学校と弥生小学校の統合） ○八幡小、高盛小、木直小、亀田中、恵山中に知的障がい特別支援学級開設 ○磨光小、潮見中、港中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○日吉が丘小に肢体不自由特別支援学級開設
平成 22 年	2010	<ul style="list-style-type: none"> ○文化芸術アウトリーチ事業開始 ○特別史跡五稜郭跡内に箱館奉行所開館 ○重要文化財旧函館区公会堂築 100 年記念事業の実施

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○金堀小、深堀小、昭和小、神山小、本通小、宇賀の浦中、尾札部中、白尻中に知的障がい特別支援学級開設 ○北星小、高盛小、東小、西中、恵山中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○中島小に肢体不自由特別支援学級開設 ○昭和小、港中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○榎法華中親子学校給食共同調理場供用開始 ○ツール・ド・北海道 2010 開催 ○第20回記念2010函館ハーフマラソン大会開催
平成 23 年	2011	<ul style="list-style-type: none"> ○垣ノ島遺跡が国の史跡に指定 ○はつらつママさんバレーボール in Hakodate 開催 ○赤川小、磨光小、白尻小、港中、的場中、深堀中に知的障がい特別支援学級開設 ○金堀小、駒場小、神山小、東山小、北中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○湯川中に肢体不自由特別支援学級開設 ○磨光小学校開校（磨光小学校と木直小学校の統合） ○縄文文化交流センター開館 ○榎法華総合センター改修 ○日吉が丘小学校・五稜中学校耐震化
平成 24 年	2012	<ul style="list-style-type: none"> ○円空作仏像観音像が市の有形文化財に指定 ○青柳小、北星小、万年橋小、東山小、北中に知的障がい特別支援学級開設 ○八幡小、高丘小、旭岡小、本通小、白尻小、桔梗中、亀田中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○弥生小学校新校舎供用開始 ○凌雲中学校耐震化
平成 25 年	2013	<ul style="list-style-type: none"> ○市制施行 90 周年記念第 29 回「平和の日」函館の集い開催 ○青柳小、中島小、石崎小、えさん小、宇賀の浦中、赤川中、潮光中、榎法華中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○本通中に肢体不自由特別支援学級開設 ○青柳小学校、深堀小学校耐震化 ○函館市学校給食基本方針策定 ○旧市立函館図書館書庫改修
平成 26 年	2014	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食で「和食の日」開始 ○日吉が丘小、北日吉小、銭亀沢中に知的障がい特別支援学級開設 ○的場中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○昭和小、磨光小に肢体不自由特別支援学級開設 ○鱒川中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○豊原 4 遺跡出土の足形付土版等一括資料が市の有形文化財に指定 ○函館市公民館改修 ○南茅部総合センター開館（南茅部公民館改修） ○千代ヶ岱小・東山小・榎法華小・深堀中耐震化
平成 27 年	2015	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道戸井高等学校閉校 ○特別支援教育推進体制の改善 ○函館市教育支援委員会開設 ○函館アリーナ開館 ○函館フットボールパーク開設 ○北日吉小・湯川小・上湯川小・旭岡小・東小・北昭和小・昭和小・北美原小・鍛神小・本通小・白尻小・大船小・湯川中・旭岡中・銭亀沢中・赤川中・亀田中・本通中・恵山中・戸井幼稚園耐震化 ○戸井公民館・戸井郷土館・戸井埋蔵文化財展示館・戸井青少年会館閉館
平成 28 年	2016	<ul style="list-style-type: none"> ○特別史跡五稜郭跡で平成 26 年に崩落した石垣の修復完了 ○戸井西部総合センター開館 ○五稜郭中学校開校（五稜中学校・大川中学校・桐花中学校の統合） ○あさひ小、柏野小、上湯川小に知的障がい特別支援学級開設 ○千代ヶ岱小、赤川中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○千代田小に肢体不自由特別支援学級開設 ○北海道豊原 4 遺跡土坑出土品が国の重要文化財に指定 ○函館マラソン開催（初のフル・ハーフ同時開催） ○第 51 回全国史跡整備市町村協議会大会開催 ○函館市いじめ防止基本方針を策定（平成 29 年 2 月策定）
平成 29 年	2017	<ul style="list-style-type: none"> ○戸倉中学校開校（戸倉中学校と亀尾中学校の統合） ○北星小、千代ヶ岱小、中島小、大船小、潮光中に知的障がい特別支援学級開設

IV 資料

		<ul style="list-style-type: none"> ○上湯川小，鱒川小，南本通小，磨光小，銭亀沢中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○白尻C遺跡出土の赤彩土器が市の有形文化財に指定 ○日米親善人形『アリソン』ほか3件が市の有形文化財に追加指定 ○伝統長唄保存会が国の重要無形文化財長唄の保持者に認定（構成員1名が函館市在住） ○ツール・ド・北海道2017開催 ○「縄文シティサミット in はこだて」開催 ○松前神楽が国の重要無形民俗文化財に指定 ○函館市民会館 耐震改修工事に伴い休館（平成29年11月～令和2年3月） ○「教職員の業務改善のための取組」の策定（平成29年12月策定） ○巴中学校校舎・屋内運動場・共同調理場新築 ○戸倉中学校屋内運動場改築 ○函館市教育振興基本計画策定 ○函館市スポーツ推進計画策定 ○美原図書室・南茅部青少年会館・亀田福祉センター閉館
平成30年	2018	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育審議会を廃止し，教育振興審議会を設置 ○いじめ防止対策審議会を設置 ○青柳中学校開校（西中学校・潮見中学校・宇賀の浦中学校の統合） ○巴中学校開校（凌雲中学校・光成中学校・的場中学校の統合） ○巴中学校親子学校給食共同調理場供用開始 ○高盛小，東小，石崎小，南本通小，鱒川中に知的障がい特別支援学級開設 ○東小，榎法華中，白尻中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○八幡小，本通小に肢体不自由特別支援学級開設 ○「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産の国内推薦候補として選定（平成30年度の国内推薦は最終的には「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に決定） ○保存修理工事（耐震補強含む）に伴い重要文化財旧函館区公会堂休館（平成30年10月～令和3年3月頃） ○北海道胆振東部地震（平成30年9月6日発生）により特別史跡五稜郭跡で崩落した石垣復旧工事着手（平成30年11月～令和元年度） ○亀田中および港中で提供された学校給食を原因とする食中毒が発生（平成30年12月18日発生） ○旧相馬家住宅主屋および土蔵が国の重要文化財に指定 ○湯川中学校給食調理場において火災発生（平成31年3月18日発生） ○湯川中学校給食調理場の廃止 ○市立学校に係る部活動の方針を策定（平成31年3月策定）
平成31年 令和元年	2019	<ul style="list-style-type: none"> ○大森浜小学校開校（金堀小学校・高盛小学校・千代ヶ岱小学校の統合） ○上湯川小学校開校（上湯川小学校と亀尾小学校の統合） ○鱒川小，石崎小，旭岡中，北中，尾札部中に知的障がい特別支援学級開設 ○中の沢小，大船小に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○港小，尾札部中に肢体不自由特別支援学級開設 ○東京2020オリンピック聖火リレーの北海道の出発地に函館市が選定（その後東京2020オリンピック開催延期に伴い令和3年の実施に変更） ○箱館奉行所において第74期本因坊決定戦七番勝負第3局が開催（6/4・5の2日間） ○函館公園こどものくに空中観覧車が国の登録有形文化財に指定 ○「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産の国内推薦候補として再び選定 ○ハンドボール日本代表によるオリンピックに向けた事前合宿（12/16～12/20） ○盛岡市教育委員会との友好交流に関する覚書の締結（石川啄木にゆかりのあるまちとして） ○新型コロナウイルス感染拡大に伴い，市立学校を臨時休業（R2.2.27～3.24），社会教育施設およびスポーツ施設の臨時休館（R2.3.3～3.19） ○新型コロナウイルス感染拡大に伴い，学校開放事業と社会学級事業を中止（当初R2.3月末まで。その後R2年度末まで中止） ○函館市立学校施設長寿命化計画の策定（R2.3策定） ○亀田公民館・亀田青少年会館閉館

2 附属機関

(1) 函館市教育振興審議会

発足 函館市教育振興審議会条例に基づき、平成30年発足

目的 教育委員会の諮問に応じ、教育の振興に関する施策の推進について調査審議する。

委員 学識経験者、教育職員、保護者、公募、その他(15人以内)

氏 名	役 職 等
小松 一保	北海道教育大学特任教授
花田 譲	函館大学教授
松浦 一秀	函館市小学校長会事務局長
佐々木 正幸	函館市小学校長会事務局次長
佐竹 聡	函館市中学校長会会長
佐竹 卓	北海道高等学校長協会道南支部長
干山 毅	函館市PTA連合会会長
館山 大樹	函館市PTA連合会副会長
吉田 素子	函館市PTA連合会母親副委員長
井上 実香	公募
横山 昭子	函館市社会教育委員
永澤 和枝	函館市町会連合会常任理事
竹内 正幸	函館商工会議所事務局長
木村 一雄	函館市私立幼稚園協会会長
豊田 リカ	函館保育協会

任期 令和3年8月31日まで

(2) 函館市スポーツ振興審議会

発足 函館市スポーツ振興審議会条例に基づき、平成3年に発足

目的 教育委員会の諮問に応じ、スポーツの推進に関する重要事項について調査審議する。

委員 学識経験のある者、関係団体の推薦する者、公募による者(10人以内)

氏 名	役 職 等
小笠原 勇人	函館市スポーツ協会副会長
名古屋 貞俊	函館市スポーツ推進委員会会長
高井 真澄美	函館市中学校体育連盟研究副部長
伊藤 烈	北海道高等学校体育連盟函館支部事務局長
野澤 信子	函館レクリエーション協会会長
八木原 一英	函館市医師会理事
本間 税	函館青年会議所副理事長
松田 賢一	函館短期大学名誉教授
小泉 正勝	公募
藤野 広善	公募

任期 令和3年12月21日まで

(3) 函館市教育支援委員会

発足 函館市就学指導委員会条例に基づき、平成 10 年発足。平成 27 年 4 月より、函館市就学指導委員会から名称変更。

目的 教育委員会の諮問に応じ、教育上特別な配慮を要する児童生徒の心身の障がいの種類、程度等について調査審議する。

委員 医師、学識経験者、教育職員、児童福祉施設の職員、関係行政機関の職員（20 人以内）

氏 名	役 職 等
石倉 亜矢子	函館中央病院小児科医長
廣瀬 三恵子	函館中央病院小児科嘱託医
白府 士孝	函館短期大学専任教員
本田 真大	北海道教育大学函館校准教授
西口 昌司	函館特別支援教育研究会会長
立田 俊治	函館特別支援教育研究会副会長
吉田 敬三	函館市中学校長会
小川 俊哉	函館市中学校長会
三浦 務	函館市小学校長会副会長
櫻田 なおみ	北海道函館養護学校長
太田 千佳子	北海道教育大学附属特別支援学校副校長
辰巳 哲治	函館市中学校教頭会
堤 勝幸	函館市小学校教頭会
中島 宏幸	函館市中学校生徒指導協議会
三浦 眞紀	函館地区言語障がい児教育研究会
檜原 永都子	児童発達支援センターうみのほし園長
田中 慎一	日本障害者・高齢者生活支援機構理事長
岡崎 弥生	はこだて療育・自立支援センター技師
田口 文彦	北海道函館児童相談所子ども支援課長
佐藤 加奈子	北海道函館児童相談所判定援助係長

任期 令和 4 年 5 月 25 日まで

(4) 函館市いじめ防止対策審議会

発足 函館市いじめ防止対策審議会条例に基づき、平成 30 年発足

目的 教育委員会の諮問に応じ、市立学校におけるいじめの防止、いじめの早期発見およびいじめへの対処のための対策等について調査審議する。

委員 教育職員、学識経験のある者、関係団体の推薦する者、公募による者等（15 人以内）

氏 名	役 職 等
佐々木 理之	函館市中学校長会
漆畑 英幸	函館市小中学校生活指導研究協議会
干山 毅	函館市 P T A 連合会
川合 裕紀子	函館人権擁護委員協議会
越橋 理恵	公募委員
松浦 まどか	公募委員
岡出 浩紀	北海道函館児童相談所地域支援課長
伊藤 詠子	函館弁護士会
多田 直人	函館市医師会
伊藤 繁子	函館家庭生活カウンセラークラブ
金谷 美也子	函館市こころの相談員
秋山 隆行	函館市スクールソーシャルワーカー
三上 清和	北海道教育大学函館校教職大学院特任教授
風間 和夫	函館大学教授
澁谷 昌広	北海道社会福祉士会道南地区支部

任期 令和 4 年 3 月 31 日まで

(5) 函館市青少年芸術教育奨励事業

企画推進委員会

発足 函館市青少年芸術教育奨励基金の設置および管理に関する条例」に基づき、平成3年発足

目的 奨励事業の実施について教育長から付託された専門的事項について審議する。

委員 小・中学校長会、高等学校長協会道南支部、PTA連合会および文化団体協議会の各代表(5人)

氏 名	役 職 等
高橋 吉隆	函館市小学校長会
笠島 美教	函館市中学校長会
谷川 敬一	北海道高等学校長協会道南支部
末永 由美	函館市PTA連合会母親副委員長
阿部 哲治	函館市文化団体協議会事務局長

任期 令和3年6月17日まで

(6) 函館市社会教育委員

発足 函館市社会教育委員設置条例に基づき、昭和24年発足

目的 教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関する諸計画の立案に関して意見を述べるほか、社会教育について調査・研究する。

委員 学校の長、社会教育関係団体の代表者、学識経験者および公募(15人)

氏 名	役 職 等
長谷川 巖	函館市小学校長会経営部員
古俣 みきお	函館市中学校長会監査
谷川 敬一	北海道高等学校長協会道南支部
外崎 紅馬	北海道教育大学函館校 教授
瀬戸 真理子	函館市文化団体協議会副会長
市田 悦雄	特定非営利活動法人函館市スポーツ協会副会長
池田 孝道	特定非営利活動法人 函館市青年サークル協議会理事
佐々木 香	函館市女性会議会長
小野田 府	函館市PTA連合会副会長
横山 昭子	公益社団法人函館法人会女性部会理事
吉川 徳人	日本放送協会函館放送局放送部長
佐々木 学	北海道新聞函館支社報道部長
横手 義孝	函館市町会連合会東部地区協議会
鄭 舜玉	公募
水野 勝敏	公募

任期 令和4年3月10日まで

(7) 博物館協議会

発足 市立函館博物館条例」に基づき，昭和
27年発足

目的 館長の諮問に応じ，博物館の運営に
関し意見を述べる。

委員 学校教育・社会教育関係者，家庭教
育の向上に資する活動を行う者，学
識経験者および公募(11人以内)

氏 名	役 職 等
佐々木 馨	北海道教育大学函館校名誉教授
川嶋 稔夫	公立はこだて未来大学教授
小笠原 学	函館市小学校長会
武井 佳子	函館市文化団体協議会副会長
風間 美智子	函館市社会学級生連絡協議会会長
若山 恵美	函館市 PTA 連合会副会長
山内 一男	(株)建築企画山内事務所代表取締役
若山 直	(株)五島軒代表取締役社長
岡崎 広久	公募
木下 あやこ	公募
清藤 千鶴子	公募

任期 令和4年3月31日まで

(8) 函館市文化財保護審議会

発足 函館市文化財保護条例に基づき，昭
和58年発足

目的 教育委員会の諮問に応じ，文化財の
保存・活用に関する重要事項につい
て調査審議する。

委員 学識経験者等(14人以内)

氏 名	役 職 等
石王 紀仁	石王紀仁建築設計事務所代表
上平 幸好	函館短期大学名誉教授
川嶋 稔夫	公立はこだて未来大学教授
齊藤 サダ	北栄測量設計(株)会長
中村 和之	函館工業高等専門学校教授
練谷 喜文	北海道函館稜北高等学校教諭
松崎 水穂	元上ノ国町教育委員会文化財課長
村田 敦郎	北海道教育大学函館校准教授
柳 英克	公立はこだて未来大学教授

任期 令和3年11月11日まで

3 児童・生徒・園児・教職員数（令和2年5月1日現在）

(1) 小学校

番号	学校名	創立年月日	校長名	電話番号	所在地	学級数			児童数(人)			教職員数（人）													学校名
						普通	特別 支援	計	普通	特別 支援	計	道費					市費					合計			
												校長・ 教諭	養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭	計	事務 職員	用務員	調理員	学校 司書	計				
1	弥 生	M15.4.1	寺本 公彦	23-5285	弥生町4-16	7	2	9	186	6	192	13	1	1		15	1				1	16	弥 生		
2	青 柳	H2.4.1	須田 晃至	23-8348	青柳町22-13	8	2	10	206	4	210	13	1	1		15	1	2			3	18	青 柳		
3	あさひ	H14.4.1	長瀬 雅一	22-2181	大森町6-11	6	2	8	161	8	169	14	1	1	1	17					0	17	あさひ		
4	中 部	S53.4.1	井岸 摂	22-2503	新川町30-26	6	2	8	132	5	137	15	1	1		17					0	17	中 部		
5	北 星	S63.4.1	長谷川 秋美	41-3340	大縄町24-26	6	2	8	113	3	116	11	1	1		13		2			2	15	北 星		
6	八 幡	S16.1.15	松浦 一秀	41-5245	八幡町15-30	12	3	15	368	11	379	20	1	1	1	23	1	2	3		6	29	八 幡		
7	万年橋	S2.1.10	高橋 吉隆	42-0861	吉川町6-22	6	2	8	128	2	130	11	1	1	1	14		2	2		4	18	万年橋		
8	港	S22.11.8	前田 知彦	41-5855	港町1丁目22-1	13	4	17	420	21	441	25	1	1		27	1	2	3		6	33	港		
9	中 島	S7.12.30	高間 猛	52-1437	中島町30-5	6	1	7	148	7	155	12	1	1		14		2	2		4	18	中 島		
10	千代田	S25.1.7	鈴木 敏文	52-2518	梁川町23-4	6	1	7	81	2	83	9	1	1	1	12		2			2	14	千代田		
11	柏 野	S3.3.2	沢田 紀之	51-3877	松陰町5-10	11	2	13	323	11	334	16	1	1		18	1	2	3		6	24	柏 野		
12	大森浜	H31.4.1	紺野 克典	51-1023	金堀町3-1	16	4	20	461	25	486	30	1	1	1	33	1	2	3		6	39	大森浜		
13	駒 場	S25.4.1	永澤 篤	52-2364	駒場町1-6	6	2	8	189	11	200	12	1	1	1	15	1	2			3	18	駒 場		
14	深 堀	S46.2.1	山本 良子	53-7822	深堀町14-2	10	3	13	235	22	257	20	1	1		22	1	2			3	25	深 堀		
15	日吉が丘	S39.4.1	小笠原 学	51-7072	日吉2丁目34-1	12	2	14	348	4	352	21	1	1		23	1	2			3	26	日吉が丘		
16	北日吉	S50.4.1	小川 祥子	55-0924	日吉4丁目5-5	12	3	15	297	13	310	23	1	1		25	1	2			3	28	北日吉		
17	湯 川	M13.9.12	畑中 雅昭	57-1759	湯川町3丁目42-1	12	2	14	321	6	327	18	1	1	1	21	1	2			3	24	湯 川		
18	高 丘	S51.5.1	新山 亨	57-3381	高丘町3-2	11	2	13	268	12	280	18	1	1		20	1	2			3	23	高 丘		
19	上湯川	S45.2.1	井田 隆幸	57-2211	上湯川町295	6	2	8	126	4	130	12	1	1		14		2			2	16	上湯川		
20	旭 岡	S54.4.1	西口 昌司	50-2867	西旭岡町1丁目33-1	7	2	9	165	6	171	15	1	1	1	18		2			2	20	旭 岡		
21	鱒 川	M34.5.15	須田 秀樹	50-2911	鱒川町91	3	2	5	15	5	20	6	1	1		8		1			1	9	鱒 川		
22	東	S47.4.1	中島 直哉	58-2847	銭亀町339	6	2	8	78	2	80	10	1	1		12		2			2	14	東		
23	石 崎	M13.4.2	坂井 顕也	58-2525	石崎町438	2	2	4	7	3	10	5	1	1	1	8		1			1	9	石 崎		
24	桔 梗	M15.11.2	佐々木 正幸	46-3607	桔梗1丁目13-2	23	4	27	712	25	737	40	1	2	1	44	1	2			3	47	桔 梗		
25	中の沢	S42.9.15	磯部 伸一	47-1302	桔梗5丁目25-5	12	1	13	313	1	314	17	1	1		19	1	1			2	21	中の沢		
26	北昭和	S51.4.1	近江 辰仁	45-1070	昭和4丁目38-1	6	2	8	191	6	197	12	1	1		14	1	2			3	17	北昭和		
27	昭 和	S40.4.1	鈴木 俊浩	41-4964	昭和1丁目5-5	13	6	19	400	23	423	29	1	1	1	32	1	2			3	35	昭 和		
28	亀 田	M34.2.1	榑 博之	41-3370	富岡町1丁目18-1	12	4	16	314	21	335	22	1	1	1	25	1	2			3	28	亀 田		
29	赤 川	M13.7.30	大場 雅樹	46-3006	赤川町367	6	2	8	84	4	88	11	1	1		13		2			2	15	赤 川		
30	中 央	S48.4.1	西田 直	46-4910	美原2丁目28-1	9	2	11	222	2	224	19	1	1		21	1	2			3	24	中 央		
31	北美原	S54.4.1	新谷 公康	46-1370	北美原1丁目9-16	19		19	647		647	27	1	2		30	1	2			3	33	北美原		
32	鍛 神	M13.4.23	石川 嘉明	51-4503	鍛冶2丁目46-4	12	5	17	317	37	354	24	1	2	1	28	1	2			3	31	鍛 神		
33	神 山	H7.4.1	三浦 務	32-7211	神山町233-1	11	3	14	279	18	297	22	1	1	1	25	1	2			3	28	神 山		
34	東 山	S53.4.1	澤田 真次	53-5531	東山2丁目3-1	12	3	15	406	11	417	21	1	1	1	24	1	2			3	27	東 山		
35	本 通	S46.4.1	長谷川 巖	54-3223	本通1丁目47-2	12	4	16	312	16	328	23	1	1		25	1	2			3	28	本 通		
36	南本通	S58.4.1	永井 貴之	55-1281	本通3丁目10-1	7	2	9	199	6	205	12	1	1		14	1	2			3	17	南本通		
37	戸井西	H10.4.1	藤森 祐子	58-2554	小安町548-1	4		4	29		29	6	1	1		8		1			1	9	戸井西		
38	日 新	M13.10.18	河野 哲郎	82-2030	弁才町279-1	3		3	21		21	6	1	1		8		1			1	9	日 新		
39	えさん	H16.4.1	盛 健	84-2341	中浜町79	5	2	7	48	4	52	9	1	1		11		1			1	12	えさん		
40	楳法華	M13.4.5	中田 裕治	86-2051	新八幡町86-1	3		3	15		15	4	1	1		6		1			1	7	楳法華		
41	磨 光	M13.12.25	西谷 さおり	63-2561	尾札部町1609-1	6	2	8	114	5	119	12	1	1		14		1			1	15	磨 光		
42	白 尻	M11.11.10	見延 誠一	25-3059	白尻町595	3	2	5	32	3	35	7	1	1		9		1			1	10	白 尻		
43	大 船	M13.12.17	松浦 宏	25-3161	大船町24	3	2	5	15	3	18	6	1	1		8		1			1	9	大 船		
計						371	97	468	9,446	378	9,824	675	43	46	15	779	24	70	16	0	110	889			

(2) 中学校

番号	学校名	創立年月日	校長名	電話番号	所在地	学級数			生徒数(人)			教職員数（人）											学校名
						普通	特別 支援	計	普通	特別 支援	計	道費					市費					合計	
												校長・ 教諭	養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭	計	事務 職員	用務員	調理員	学校 司書	計		
1	青 柳	H30.4.1	坂本 昌昭	23-4295	青柳町10-7	9	2	11	291	10	301	21	1	1		23	1			1	2	25	青 柳
2	港	S32.4.1	長谷川 秀雄	41-5790	港町2丁目10-1	6	2	8	174	6	180	14	1	1		16	1	2		1	4	20	港
3	巴	H30.4.1	佐竹 聡	56-5005	的場町12-7	15	2	17	559	12	571	34	1	2	2	39	1			1	2	41	巴
4	深 堀	S36.4.1	三浦 佐和子	52-2682	深堀町28-1	7	1	8	240	1	241	17	1	1	1	20	1	2		1	4	24	深 堀
5	湯 川	S22.5.1	内山 作	59-2008	湯川町2丁目41-1	9	3	12	265	17	282	22	1	1		24	1	2		1	4	28	湯 川
6	戸 倉	S48.4.1	古俣 みきお	59-2141	戸倉町26-1	9	2	11	294	4	298	21	1	1	1	24	1	2		1	4	28	戸 倉
7	旭 岡	S56.4.1	田上 直広	50-3609	西旭岡町3丁目5	3	1	4	103	2	105	11	1	1		13		2			2	15	旭 岡
8	鱒 川	S36.4.1	須田 秀樹	50-2911	鱒川町91	2	2	4	11	3	14	9				9					0	9	鱒 川
9	銭亀沢	S29.4.1	中埜渡 信裕	58-2542	豊原町140-30	3	1	4	42	3	45	10	1	1		12		2			2	14	銭亀沢
10	赤 川	S55.4.1	小林 徹也	46-0486	赤川町125	9	3	12	306	18	324	23	1	1		25	1	2			3	28	赤 川
11	桔 梗	S59.4.1	濱谷 操	46-9990	桔梗町429-4	15	1	16	514	5	519	29	1	1	1	32	1	2		1	4	36	桔 梗
12	亀 田	S23.5.10	吉田 敬三	46-3005	美原3丁目30-3	15	3	18	506	13	519	34	1	1	1	37	1	2		1	4	41	亀 田
13	五稜郭	H28.4.1	木村 雅彦	41-1332	富岡町1丁目18-2	12	3	15	462	21	483	29	1	1		31	1	2		1	4	35	五稜郭
14	本 通	S50.4.1	仲井 靖典	55-3141	本通2丁目56-7	14	2	16	510	13	523	30	1	1		32	1	2		1	4	36	本 通
15	北	S57.4.1	奥崎 敏之	56-0553	山の手3丁目58-1	7	2	9	219	4	223	18	1	1	1	21	1	2		1	4	25	北
16	潮 光	S27.4.1	佐々木 理之	82-2160	釜谷町227	2	1	3	11	1	12	8	1			9	2	1			3	12	潮 光
17	日 新	S22.5.21	池田 公貴	82-2061	泊町126	2		2	12		12	7				7	1	1			2	9	日 新
18	恵 山	H17.4.1	佐藤 雅博	85-2122	柏野町9	3		3	35		35	10	1	1		12		1		1	2	14	恵 山
19	楳法華	S22.4.1	齊藤 淳一	86-2151	新浜町151-1	3	1	4	20	1	21	10	1	1	1	13		1			1	14	楳法華
20	尾札部	S24.8.3	笠島 美教	63-2762	尾札部町2023	3	2	5	65	2	67	12	1	1		14		1			1	15	尾札部
21	白 尻	M22.5.1	小川 俊哉	25-3281	豊崎町205	3	1	4	34	2	36	10	1	1		12		1			1	13	白 尻
計						151	35	186	4,673	138	4,811	376	19	19	8	422	15	30	0	12	57	479	

(3) 高等学校

番号	学校名	創立年月日	校長名	電話番号	所在地	学級数	生徒数 (人)	教職員数（人）					学校名
								校長・ 教諭	実習 助手	事務 職員	用務員	計	
1	市立函館	H19.4.1	谷川 敬一	52-0099	柳町11-5	18	717	57	1	5		63	市立函館

(4) 幼稚園

番号	園名	創立年月日	校長名	電話番号	所在地	学級数				園児数				教職員数（人）				学校名
						3 歳	4 歳	5 歳	計	3 歳	4 歳	5 歳	計	園長・ 教諭	事務	用務員	計	
1	戸 井	H10.4.1	土川 千枝	82-3577	小安町523-7	1	1	1	3	6	8	4	18	4		1	5	戸 井

4 学校施設の状況

(1) 小学校

番号	学校名	校舎						屋内運動場					プール		校地面積㎡			調理場		学校開放				学校名
		建築年	構造	階数	面積㎡	暖房	ランチルーム	建築年	構造	階数	面積㎡	暖房	種類	上屋	建物敷地	グラウンド	計	種別	子	スポーツ	文化	校庭	遊泳	
1	弥 生	H24	R	3	4,721	ガス F F	○	H23	R	2	1,137	遠赤外線放射			8,355	3,374	11,729	子	-	○	○			弥 生
2	青 柳	S11	R	3	5,041	ボット式灯油		S11	R	2	1,265	ダクト式高温風	ステンレス	○	7,721	2,666	10,387	子	-	○		○	○	青 柳
3	あさひ	H13	R	3	4,402	ガス F F	○	H13	R	2	1,084	遠赤外線放射	ステンレス	○	4,719	4,182	8,901	親	弥生小, 青柳小, 中部小	○	○	○	○	あさひ
4	中 部	S52	R	4	4,183	蒸気	○	S53	S	1	835	ダクト式高温風			4,707	6,595	11,302	子	-	○				中 部
5	北 星	S62	R	3	3,354	ガス F F		S63	S	1	875	ダクト式高温風	ステンレス		6,835	3,094	9,929	子	-	○		○	○	北 星
6	八 幡	H5	R	3	5,532	ガス F F		H6	R	1	1,000	遠赤外線放射	ステンレス	○	9,891	4,043	13,934	単独	-	○	○		○	八 幡
7	万年橋	H3	R	3	3,376	温水		H5	R	1	956	遠赤外線放射			6,994	4,670	11,664	単独	-	○			○	万年橋
8	港	S57	R	3	5,797	ガス F F		H7	R	1	1,018	遠赤外線放射	ステンレス	○	8,580	9,820	18,400	単独	-	○		○	○	港
9	中 島	H5	R	3	3,523	温水		H6	R	1	1,062	遠赤外線放射			5,602	5,156	10,758	単独	-	○			○	中 島
10	千代田	S60	R	3	3,640	温水		H6	R	1	1,004	遠赤外線放射			8,258	5,022	13,280	親	本通小	○		○		千代田
11	柏 野	H1	R	3	5,388	温水		H4	R	1	952	遠赤外線放射			8,150	5,453	13,603	単独	-	○		○		柏 野
12	大森浜	H7	R	3	4,629	ガス F F		H8	R	1	1,044	遠赤外線放射			9,509	9,669	19,178	単独	-	○	○			大森浜
13	駒 場	H1	R	3	4,965	温水		H3	R	1	998	遠赤外線放射	ステンレス	○	11,395	14,915	26,310	親	南本通小	○			○	駒 場
14	深 堀	S46	R	3	4,270	ボット式灯油		S48	S	1	829	ダクト式高温風			7,611	8,621	16,232	子	-	○		○		深 堀
15	日吉が丘	S38	R	3	5,815	ボット式灯油		S39	S	1	899	ダクト式高温風			9,740	8,101	17,841	子	-	○				日吉が丘
16	北日吉	S49	R	3	3,993	電気		S50	S	1	789	ダクト式高温風			13,397	7,507	20,904	子	-	○		○		北日吉
17	湯 川	S43	R	3	5,770	ガス F F		S35	S	1	796	遠赤外線放射			10,587	7,200	17,787	親	高丘小					湯 川
18	高 丘	S51	R	3	3,604	電気		S52	S	1	752	ダクト式高温風			10,118	6,410	16,528	子	-				○	高 丘
19	上湯川	S45	R	3	5,003	ボット式灯油		S47	S	1	855	ダクト式高温風	ステンレス		11,835	8,000	19,835	子	-	○			○	上湯川
20	旭 岡	S53	R	3	5,117	蒸気	○	S53	S	1	749	ダクト式高温風	ステンレス		11,004	10,794	21,798	親	上湯川小, 鱒川小中, 東小				○	旭 岡
21	鱒 川	H8	R	2	695	灯油 F F		H9	R	1	(併)	遠赤外線放射			9,946	4,670	14,616	子	-	○				鱒 川
22	東	S48	R	2	3,179	灯油 F F		S49	S	1	612	ダクト式高温風	鋼製		9,914	7,015	16,929	子	-				○	東
23	石 崎	S33	S/R	1	1,968	灯油 F F		H8	R	1	825	遠赤外線放射			30,441	8,190	38,631	親	戸井西小, 銭亀沢中, 潮光中, 戸井幼	○	○			石 崎
24	桔 梗	S53	R	4	4,586	灯油 F F		H5	R	1	1,057	遠赤外線放射	ステンレス		8,923	5,076	13,999	親	北星小	○			○	桔 梗
25	中の沢	S62	R	3	3,024	電気		S62	S	1	678	遠赤外線放射	F R P	○	6,498	4,813	11,311	子	-	○	○		○	中の沢
26	北昭和	S51	R	3	3,462	電気		S52	S	1	652	遠赤外線放射			8,549	7,750	16,299	子	-	○		○		北昭和
27	昭 和	H18	R	3	6,183	ガス F F	○	S41	S	1	922	遠赤外線放射	ステンレス	○	15,095	10,799	25,894	親	日吉が丘小, 北日吉小, 北昭和小	○	○	○	○	昭 和
28	亀 田	S35	R	3	5,773	ガス F F		S38	S	1	778	ダクト式高温風			12,872	5,080	17,952	親	中の沢小	○				亀 田
29	赤 川	S51	R	3	3,173	灯油 F F		H5	R	1	942	遠赤外線放射			8,092	3,469	11,561	子	-	○				赤 川
30	中 央	S48	R	3	5,622	蒸気		S50	S	1	867	ダクト式高温風	ステンレス		10,249	9,588	19,837	子	-	○			○	中 央
31	北美原	S53	R	4	4,816	蒸気		S54	S	1	895	ダクト式高温風	ステンレス		7,851	9,161	17,012	単独		○		○	○	北美原
32	鍛 神	S46	R	3	5,524	ガス F F		S46	S	1	793	ダクト式高温風			12,013	9,426	21,439	親	中央小	○	○	○		鍛 神
33	神 山	H7	R	3	4,315	灯油 F F		H7	R	1	1,002	遠赤外線放射	ステンレス		7,958	6,546	14,504	親	赤川小	○			○	神 山
34	東 山	S53	R	4	4,413	灯油 F F		S53	S	1	770	遠赤外線放射	鋼製		9,115	6,317	15,432	親	深堀小	○		○	○	東 山
35	本 通	S46	R	3	5,535	ガス F F		S47	S	1	945	遠赤外線放射	鋼製		9,059	17,229	26,288	子	-	○			○	本 通
36	南本通	S58	R	3	3,138	温水		S57	S	1	772	ダクト式高温風	ステンレス	○	4,993	8,024	13,017	子	-	○			○	南本通
37	戸井西	S29	S	1	1,604	灯油 F F		S60	S	2	748	温水			11,230	11,220	22,450	子	-	○				戸井西
38	日 新	S52	R	3	2,997	電気		S52	S	2	747	温水			7,545	4,886	12,431	子	-	○				日 新
39	えさん	S57	R	2	2,958	温水		S57	R	1	708	温水			10,221	14,026	24,247	子	-	○				えさん
40	楳法華	S53	R	3	2,329	温水		S54	S	1	652	温水			9,810	5,416	15,226	子	-	○				楳法華
41	磨 光	H8	R	4	3,629	温水		H8	S	1	1,329	温水			19,436	8,789	28,225	子	-	○				磨 光
42	白 尻	S46	R	2	2,406	ボット式灯油		S43	S	1	586	遠赤外線放射			14,124	10,411	24,535	子	-					白 尻
43	大 船	S52	R	2	1,526	ボット式灯油		S52	S	1	570	遠赤外線放射			9,462	5,357	14,819	子	-	○				大 船
計					174,978		5				36,749		18	8	428,404	318,550	746,954			38	8	14	20	

※校舎および屋内運動場の建築年は最も古い棟の年とし、階数は棟の中で最も多いものとした。

(2) 中学校

番号	学校名	校舎					屋内運動場					プール		校地面積㎡			調理場		学校開放				学校名
		建築年	構造	階数	面積㎡	暖房	建築年	構造	階数	面積㎡	暖房	種類	上屋	建物敷地	グラウンド	計	種別	子	スポーツ	文化	校庭	遊泳	
1	青 柳	H4	R	3	4,317	ガスF F	H6	R	1	1,161	遠赤外線放射			11,560	9,522	21,082	子	-	○				青 柳
2	港	H6	R	3	4,342	温水	H7	R	1	1,200	遠赤外線放射			11,391	9,221	20,612	子	-	○	○			港
3	巴	H30	R	4	7,822	ガスF F	H30	R	2	1,697	遠赤外線放射			10,927	11,755	22,682	親	青柳中、五稜郭中	○				巴
4	深 堀	H7	R	3	5,960	ガスF F	S36	S	1	947	ダクト式高温風			11,033	12,248	23,281	親	湯川中	○	○			深 堀
5	湯 川	S41	R	3	6,172	ガスF F	H5	R	1	1,136	遠赤外線放射			15,142	8,709	23,851	子	-	○				湯 川
6	戸 倉	S47	R	4	5,068	灯油F F	H30	S	1	1,201	遠赤外線放射			12,658	10,364	23,022	親	旭岡中	○				戸 倉
7	旭 岡	S56	R	4	3,569	蒸気	S56	S	1	972	ダクト式高温風			11,704	10,681	22,385	子	-					旭 岡
8	鱒 川	H8	R	2	697	灯油F F	H9	R	1	679	遠赤外線放射			(併)	(併)	(併)	子	-					鱒 川
9	銭亀沢	S54	R	3	2,683	蒸気	S57	S	1	719	遠赤外線放射			11,252	18,067	29,319	子	-					銭亀沢
10	赤 川	S55	R	3	4,801	灯油F F	S55	S	1	1,128	ダクト式高温風			7,511	11,952	19,463	子	-	○				赤 川
11	桔 梗	S59	R	4	4,405	ガスF F	S59	S	1	908	ダクト式高温風			9,691	10,321	20,012	親	赤川中	○				桔 梗
12	亀 田	S41	R	3	6,997	ガスF F	S44	S	1	1,115	遠赤外線放射			17,058	19,647	36,705	親	港中	○				亀 田
13	五稜郭	S52	R	3	5,407	ガスF F	H9	R	1	1,231	遠赤外線放射			11,592	13,763	25,355	子	-	○	○			五稜郭
14	本 通	S50	R	3	6,559	ガスF F	S50	S	1	1,040	遠赤外線放射			12,557	15,240	27,797	子	-					本 通
15	北	S57	R	4	4,311	ガスF F	S57	S	1	1,005	ダクト式高温風			6,913	12,023	18,936	親	本通中					北
16	潮 光	H8	R	2	2,624	灯油F F	H5	S	2	1,104	遠赤外線放射	鋼製	○	10,797	7,134	17,931	子	-					潮 光
17	日 新	S55	R	3	2,747	電気	S58	S	1	983	温水			21,524	8,926	30,450	子	-	○				日 新
18	恵 山	S55	R	2	2,365	温水	S55	S	1	770	温水			10,267	10,573	20,840	子	-					恵 山
19	楸法華	S57	R	2	2,762	温水	S57	S	1	761	温水			9,858	12,405	22,263	親	日新小、えさん小、楸法華小、磨光小、白尻小、大船小、日新中、恵山中、尾札部中、白尻中	○				楸法華
20	尾札部	S47	R	3	4,450	ポット式灯油	S41	S	1	808	遠赤外線放射			11,175	19,059	30,234	子	-					尾札部
21	白 尻	S52	R	2	2,413	ポット式灯油	S41	S	1	735	遠赤外線放射			13,897	16,572	30,469	子	-					白 尻
計					90,471					21,300		1	1	238,507	248,182	486,689			12	3	0	0	

※校舎および屋内運動場の建築年は最も古い棟の年とし、階数は棟の中で最も多いものとした。

(3) 高等学校

番号	学校名	校舎					屋内運動場					校地面積㎡			学校名
		建築年	構造	階数	面積㎡	暖房	建築年	構造	階数	面積㎡	暖房	建物敷地	グラウンド	計	
1	市立函館	S54	R	3	9,094	ガスF F	S42	S	2	3,270	遠赤外線放射	38,399	51,580	89,979	市立函館

※校舎および屋内運動場の建築年は最も古い棟の年とし、階数は棟の中で最も多いものとした。

(4) 幼稚園

番号	園名	園舎					園地面積㎡			園名
		建築年	構造	階数	面積㎡	暖房	建物敷地	グラウンド	計	
1	戸井	S55	S	1	661	電気	6,614	1,051	7,665	戸井

5 函館市内の指定文化財

(1) 国指定文化財

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
1	土偶	国宝	H19.6.8
2	木造大日如来坐像	重要文化財（美術工芸品・彫刻）	S42.6.15
3	太刀川家住宅店舗	重要文化財（建造物）	S46.12.28
4	旧函館区公会堂	重要文化財（建造物）	S49.5.21
5	函館ハリストス正教会復活聖堂	重要文化財（建造物）	S58.6.2
6	遺愛学院（旧遺愛女学校）本館 旧宣教師館	重要文化財（建造物）	H13.6.15
7	北海道志海苔中世遺構出土銭	重要文化財（美術工芸品・考古資料）	H15.5.29
8	大谷派本願寺函館別院 本堂 鐘楼 正門	重要文化財（建造物）	H19.12.4
9	北海道豊原4遺跡土坑出土品	重要文化財（美術工芸品・考古資料）	H28.8.17
10	旧相馬家住宅	重要文化財（建造物）	H30.12.25
11	五稜郭跡	特別史跡	S27.3.29
12	四稜郭	史跡	S9.1.22
13	志苔館跡	史跡	S9.8.9
14	大船遺跡	史跡	H13.8.13
15	垣ノ島遺跡	史跡	H23.2.7
16	旧岩船氏庭園（香雪園）	名勝	H13.8.13
17	長唄	重要無形文化財	H29.10.2
18	アイヌの生活用具コレクション	重要有形民俗文化財	S34.5.6
19	松前神楽	重要無形民俗文化財	H30.3.8

[参考] 市立函館博物館寄託資料

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
1	銀板写真（石塚官蔵と従者像）	重要文化財（美術工芸品・考古資料）	H18.6.9

(2) 国選定文化財

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
1	函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区	重要伝統的建造物群保存地区	S63.4.21

(3) 国登録文化財

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
1	五島軒本店旧館	有形文化財（建造物）	H9.5.7
2	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	有形文化財（建造物）	H12.4.28
3	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	有形文化財（建造物）	H12.4.28
4	函館中華会館	有形文化財（建造物）	H13.4.24
5	遺愛学院講堂	有形文化財（建造物）	H14.6.25
6	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	有形文化財（建造物）	H17.7.12
7	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	有形文化財（建造物）	H17.7.12
8	高龍寺本堂	有形文化財（建造物）	H24.2.23
9	高龍寺開山堂	有形文化財（建造物）	H24.2.23
10	高龍寺山門及び袖塀	有形文化財（建造物）	H24.2.23
11	高龍寺防火塀	有形文化財（建造物）	H24.2.23
12	高龍寺金毘羅堂	有形文化財（建造物）	H24.2.23
13	高龍寺水盤舎	有形文化財（建造物）	H24.2.23
14	高龍寺鐘楼	有形文化財（建造物）	H24.2.23
15	高龍寺宝蔵	有形文化財（建造物）	H24.2.23
16	高龍寺位牌堂	有形文化財（建造物）	H24.2.23
17	高龍寺土塀	有形文化財（建造物）	H24.2.23
18	旧藤澤家住宅主屋	有形文化財（建造物）	H28.11.29
19	函館YWCA会館	有形文化財（建造物）	H28.11.29
20	函館公園こどものくに空中観覧車	有形文化財（建造物）	R元.12.5
21	函館公園	記念物（名勝地）	H18.1.26

(4) 北海道指定文化財

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
1	旧金森洋物店	北海道指定有形文化財（建造物）	S38.7.26
2	旧函館博物館 1 号	北海道指定有形文化財（建造物）	S38.7.26
3	旧函館博物館 2 号	北海道指定有形文化財（建造物）	S38.7.26
4	旧北海道庁函館支庁庁舎	北海道指定有形文化財（建造物）	S60.3.30
5	旧開拓使函館支庁書籍庫	北海道指定有形文化財（建造物）	S60.3.30
6	夷酋列像粉本	北海道指定有形文化財（絵画）	S34.2.24
7	釈迦涅槃図 蠣崎波響筆	北海道指定有形文化財（絵画）	S43.3.29
8	刀 銘源正雄	北海道指定有形文化財（工芸）	S45.2.12
9	樽岸出土の石器	北海道指定有形文化財（考古資料）	S32.12.20
10	榎法華出土の尖底土器	北海道指定有形文化財（考古資料）	S43.3.29
11	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	北海道指定有形文化財（考古資料）	S45.2.12
12	板碑（貞治の碑）	北海道指定有形文化財（考古資料）	S46.3.5
13	板碑（戸井町の板碑）	北海道指定有形文化財（考古資料）	S46.3.5
14	サイベ沢遺跡出土の遺物	北海道指定有形文化財（考古資料）	S46.3.5
15	住吉町遺跡出土の遺物	北海道指定有形文化財（考古資料）	S46.3.5
16	石崎八幡神社の鰐口	北海道指定有形文化財（歴史資料）	S43.3.29
17	恵山貝塚	北海道指定史跡	S42.3.17
18	女那川煉瓦製造所跡	北海道指定史跡	S42.3.17
19	古武井熔鋳炉跡	北海道指定史跡	S42.3.17

(5) 函館市指定文化財

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
1	旧イギリス領事館	函館市指定有形文化財（建造物）	S54.10.23
2	小林源之助著 蝦夷地草木写生図	函館市指定有形文化財（絵画）	S37.11.3
3	小玉貞良筆 蝦夷国風図絵	函館市指定有形文化財（絵画）	S37.11.3
4	アイヌ風俗12ヵ月屏風1双（うち7月～12月は平沢屏山筆、1月～6月は宮原柳僊模写）	函館市指定有形文化財（絵画）	S37.11.3
5	梁川八景	函館市指定有形文化財（絵画）	S38.11.3
6	唐美人	函館市指定有形文化財（絵画）	S38.11.3
7	落下コロボックル人の図	函館市指定有形文化財（絵画）	S38.11.3
8	維摩	函館市指定有形文化財（絵画）	S39.11.3
9	アイヌ絵巻	函館市指定有形文化財（絵画）	S39.11.3
10	蓬萊図	函館市指定有形文化財（絵画）	S39.11.3
11	絹本着色 春雨桜雉図 蠣崎波響筆（旧花光コレクション）	函館市指定有形文化財（絵画）	S40.11.3
12	絹本着色 厳上鴛鴦図 蠣崎波響筆（旧花光コレクション）	函館市指定有形文化財（絵画）	S40.11.3
13	絹本着色 五節句図 蠣崎波響筆（旧花光コレクション）	函館市指定有形文化財（絵画）	S40.11.3
14	絹本着色 牡丹睡猫図 蠣崎波響筆（旧花光コレクション）	函館市指定有形文化財（絵画）	S40.11.3
15	紙本単彩 雁来紅図 蠣崎波響筆（旧花光コレクション）	函館市指定有形文化財（絵画）	S40.11.3
16	黒百合 松浦武四郎筆	函館市指定有形文化財（絵画）	S41.11.3
17	蝦夷人亜寒山遙拝の図 松浦武四郎筆	函館市指定有形文化財（絵画）	S41.11.3
18	弁天島八千代橋の図	函館市指定有形文化財（絵画）	S53.2.28
19	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 竜の図	函館市指定有形文化財（絵画）	S53.2.28
20	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 馬の図	函館市指定有形文化財（絵画）	S53.2.28
21	川汲稲荷神社奉納絵馬『楠木正成正行父子桜井驛の別れの図』	函館市指定有形文化財（絵画）	H12.8.10
22	菅原透ほか鏝23点、唐草文ほか小物5点	函館市指定有形文化財（工芸）	S37.11.3
23	函館八幡宮大神輿	函館市指定有形文化財（工芸）	H14.6.5
24	恵山貝塚出土品を中心とする恵山文化期骨角器製品一括資料506点並びに恵山貝塚出土遺物を中心	函館市指定有形文化財（考古資料）	S37.11.3
25	日ノ浜遺跡出土 硬玉製玉（縄文晩期）	函館市指定有形文化財（考古資料）	S37.11.3

IV 資料

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
26	有舌尖頭器類73点	函館市指定有形文化財（考古資料）	S39.11.3
27	白尻B遺跡出土『シカ絵画土器』	函館市指定有形文化財（考古資料）	H12.8.10
28	八木B遺跡出土『注口土器及び下部有孔土器』	函館市指定有形文化財（考古資料）	H12.8.10
29	ブラキストンの大形磨製石斧	函館市指定有形文化財（考古資料）	H18.4.12
30	白尻C遺跡出土の赤彩土器	函館市指定有形文化財（考古資料）	H29.5.10
31	戸井貝塚出土品	函館市指定有形文化財（古文書）	R元.12.25
32	古川古松軒筆 松前蝦夷地之図	函館市指定有形文化財（古文書）	S37.11.3
33	蝦夷嶋図説	函館市指定有形文化財（古文書）	S39.11.3
34	蝦夷嶋奇観	函館市指定有形文化財（古文書）	S39.11.3
35	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記9冊	函館市指定有形文化財（古文書）	S40.11.3
36	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記付録12冊	函館市指定有形文化財（古文書）	S40.11.3
37	蝦夷日誌 松浦武四郎著	函館市指定有形文化財（古文書）	S41.11.3
38	実験北蝦夷山川地理取調図 松浦武四郎著	函館市指定有形文化財（古文書）	S41.11.3
39	蝦夷家財図説 松浦武四郎稿	函館市指定有形文化財（古文書）	S41.11.3
40	蝦夷隣奇観 松浦武四郎写	函館市指定有形文化財（古文書）	S41.11.3
41	奉納経神社仏閣順拝帳	函館市指定有形文化財（古文書）	S53.2.28
42	飯田屋漁場文書	函館市指定有形文化財（古文書）	S53.2.28
43	ヲタハマ稲荷文書	函館市指定有形文化財（古文書）	S53.2.28
44	尾札部稲荷神社文書	函館市指定有形文化財（古文書）	S53.2.28
45	熊泊稲荷文書	函館市指定有形文化財（古文書）	S53.2.28
46	詩書 榎本武揚筆	函館市指定有形文化財（書跡）	S39.11.3
47	カムチャッカ出土 マンモス牙	函館市指定有形文化財（地質鉱物）	S37.11.3
48	樺太出土 マンモス下顎骨と臼歯	函館市指定有形文化財（地質鉱物）	S37.11.3
49	十一面観音立像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S38.11.3
50	阿弥陀如来像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S38.11.3

IV 資料

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
51	不動明王立像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S38.11.3
52	巖島神社旧社殿彫刻	函館市指定有形文化財（彫刻）	S53.2.28
53	伝目定作 釈迦如来坐像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S54.12.7
54	伝目定作 釈迦如来立像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S54.12.7
55	伝目定作 脇侍形菩薩立像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S54.12.7
56	伝目定作 釈迦如来坐像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S54.12.7
57	伝目定作 恵比須像	函館市指定有形文化財（彫刻）	S54.12.7
58	伝目定作 恵比須大黒神像	函館市指定有形文化財（彫刻）	H12.8.10
59	円空作仏像観音像	函館市指定有形文化財（彫刻）	H24.2.8
60	イワン・マホフ著 ろしやのいろは	函館市指定有形文化財（典籍）	S37.11.3
61	函館新聞綴込一括	函館市指定有形文化財（典籍）	S39.11.3
62	セイウチ（海象）剥製	函館市指定有形文化財（動物）	S37.11.3
63	近藤重蔵書翰	函館市指定有形文化財（筆跡）	S37.11.3
64	短冊 松浦武四郎筆	函館市指定有形文化財（筆跡）	S41.11.3
65	伝グローニンの書	函館市指定有形文化財（筆跡）	S43.12.4
66	ペリー提督寄贈の洋酒びん2本（小島家旧蔵・旧花光コレクション）	函館市指定有形文化財（歴史資料）	S54.10.23
67	日米親善人形	函館市指定有形文化財（歴史資料）	H12.8.10
68	高松凌雲の医療器具	函館市指定有形文化財（歴史資料）	H18.4.12
69	五稜郭初度設計図	函館市指定有形文化財（歴史資料）	H20.10.8
70	五稜郭平面図	函館市指定有形文化財（歴史資料）	H20.10.8
71	高田屋嘉兵衛碑	函館市指定史跡	S34.8.1
72	日の浜遺跡	函館市指定史跡	S34.8.1
73	北海道建網大謀網発祥の地及び記念碑	函館市指定史跡	S53.2.28
74	東エゾ箱館在六箇場所白尻会所跡	函館市指定史跡	S53.2.28
75	恵山	函館市指定名勝	S34.8.1

IV 資料

番号	名称	文化財分類	文化財指定日
76	道南金剛	函館市指定名勝	S34.8.1
77	賽の河原	函館市指定名勝	S34.8.1
78	恵山高山植物群	函館市指定天然記念物	S34.8.1
79	恵山断層	函館市指定天然記念物	S34.8.1
80	イチョウの大樹	函館市指定天然記念物	S53.2.28
81	「大船の杉」大樹	函館市指定天然記念物	S53.2.28
82	旧白尻村役場のエゾヤマザクラ	函館市指定天然記念物	H16.3.10
83	コディアック・アリユート3人乗皮舟 付かい3本	函館市指定有形民俗文化財	S54.10.23
84	木直稲荷神社 第1号～第6号棟札	函館市指定有形民俗文化財	S54.12.7
85	川汲稲荷神社 第1号～第4号棟札	函館市指定有形民俗文化財	S54.12.7
86	巖島神社 第1号～第6号棟札	函館市指定有形民俗文化財	S54.12.7
87	ヲタハマ稲荷神社 第1号～第2号棟札	函館市指定有形民俗文化財	S54.12.7
88	安浦駒踊り	函館市指定無形民俗文化財	S53.2.28
89	木直大正神楽	函館市指定無形民俗文化財	S53.2.28

